

ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第228期 (決算日 2021年11月15日)

第229期 (決算日 2021年12月15日)

第230期 (決算日 2022年1月17日)

第231期 (決算日 2022年2月15日)

第232期 (決算日 2022年3月15日)

第233期 (決算日 2022年4月15日)

(作成対象期間 2021年10月16日～2022年4月15日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限 (設定日: 2002年10月31日)	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	内外の公社債、ABS (アセットバック証券: 各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券)、MBS (モーゲージ担保証券: 不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券) および短期金融商品
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。	

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSEオーストラリア国債インデックス (円換算)		公社債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
204期末(2019年11月15日)	5,737	20	0.3	28,452	△ 0.3	98.1	—	5,656
205期末(2019年12月16日)	5,813	20	1.7	28,871	1.5	97.7	—	5,673
206期末(2020年1月15日)	5,834	20	0.7	29,119	0.9	97.8	—	5,670
207期末(2020年2月17日)	5,693	20	△ 2.1	28,725	△ 1.4	97.4	—	5,499
208期末(2020年3月16日)	5,047	20	△ 11.0	25,616	△ 10.8	97.8	—	4,833
209期末(2020年4月15日)	5,288	20	5.2	27,107	5.8	97.8	—	5,052
210期末(2020年5月15日)	5,358	20	1.7	27,452	1.3	98.1	—	5,099
211期末(2020年6月15日)	5,628	10	5.2	28,897	5.3	98.0	—	5,296
212期末(2020年7月15日)	5,763	10	2.6	29,628	2.5	97.8	—	5,404
213期末(2020年8月17日)	5,888	10	2.3	30,282	2.2	98.2	—	5,454
214期末(2020年9月15日)	5,921	10	0.7	30,567	0.9	97.8	—	5,430
215期末(2020年10月15日)	5,792	10	△ 2.0	30,026	△ 1.8	97.9	—	5,287
216期末(2020年11月16日)	5,890	10	1.9	30,440	1.4	98.2	—	5,308
217期末(2020年12月15日)	6,033	10	2.6	31,186	2.5	98.2	—	5,408
218期末(2021年1月15日)	6,181	10	2.6	31,879	2.2	97.8	—	4,355
219期末(2021年2月15日)	6,233	10	1.0	32,075	0.6	98.0	—	4,322
220期末(2021年3月15日)	6,362	10	2.2	32,381	1.0	97.8	—	4,317
221期末(2021年4月15日)	6,331	10	△ 0.3	32,343	△ 0.1	97.6	—	4,197
222期末(2021年5月17日)	6,365	10	0.7	32,544	0.6	97.4	—	4,174
223期末(2021年6月15日)	6,386	10	0.5	33,172	1.9	98.0	—	4,121
224期末(2021年7月15日)	6,163	10	△ 3.3	32,405	△ 2.3	97.1	—	3,925
225期末(2021年8月16日)	6,045	10	△ 1.8	31,989	△ 1.3	97.9	—	3,781
226期末(2021年9月15日)	6,006	10	△ 0.5	31,854	△ 0.4	97.5	—	3,724
227期末(2021年10月15日)	6,241	10	4.1	32,694	2.6	97.9	—	3,837
228期末(2021年11月15日)	6,058	10	△ 2.8	31,898	△ 2.4	97.7	—	3,681
229期末(2021年12月15日)	5,899	10	△ 2.5	31,329	△ 1.8	97.3	—	3,570
230期末(2022年1月17日)	5,956	10	1.1	31,422	0.3	96.9	—	3,567
231期末(2022年2月15日)	5,846	10	△ 1.7	30,759	△ 2.1	97.4	—	3,470
232期末(2022年3月15日)	5,962	10	2.2	31,198	1.4	97.5	—	3,517
233期末(2022年4月15日)	6,422	10	7.9	33,147	6.2	97.6	—	3,684

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSEオーストラリア国債インデックス (円換算) は、FTSEオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSEオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

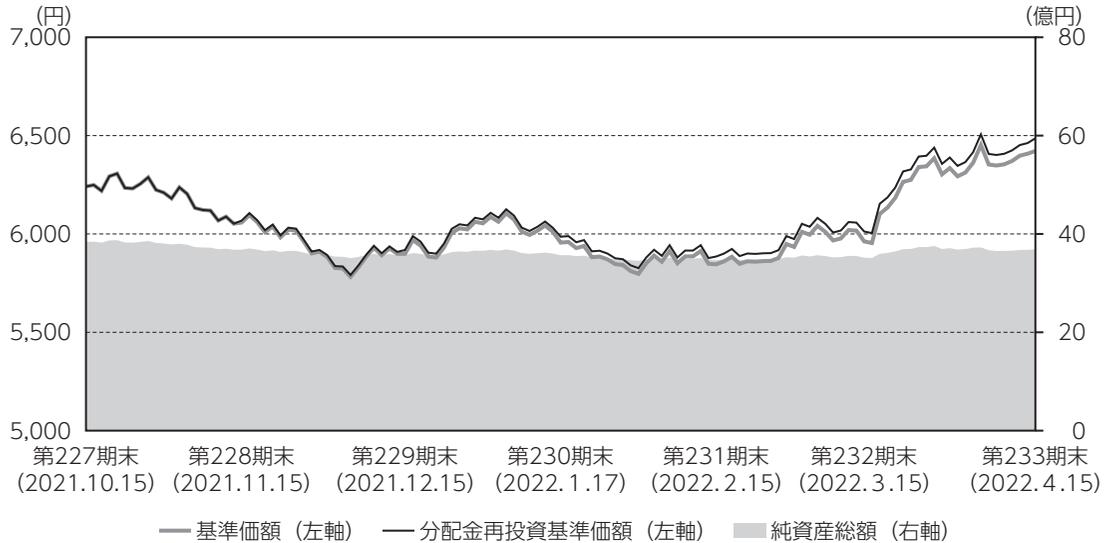
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第228期首：6,241円

第233期末：6,422円（既払分配金60円）

騰落率：3.9%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の価格下落はマイナス要因になったものの、利息収入や豪ドルが円に対して上昇（円安）したことを反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		FTSEオーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第228期	(期首) 2021年10月15日	円 6,241	% -	32,694	% -	% 97.9	% -
	10月末	6,210	△0.5	32,500	△0.6	97.3	-
	(期末) 2021年11月15日	6,068	△2.8	31,898	△2.4	97.7	-
第229期	(期首) 2021年11月15日	6,058	-	31,898	-	97.7	-
	11月末	5,909	△2.5	31,210	△2.2	97.8	-
	(期末) 2021年12月15日	5,909	△2.5	31,329	△1.8	97.3	-
第230期	(期首) 2021年12月15日	5,899	-	31,329	-	97.3	-
	12月末	6,087	3.2	32,446	3.6	97.4	-
	(期末) 2022年 1 月17日	5,966	1.1	31,422	0.3	96.9	-
第231期	(期首) 2022年 1 月17日	5,956	-	31,422	-	96.9	-
	2022年 1 月末	5,797	△2.7	30,600	△2.6	97.3	-
	(期末) 2022年 2 月15日	5,856	△1.7	30,759	△2.1	97.4	-
第232期	(期首) 2022年 2 月15日	5,846	-	30,759	-	97.4	-
	2 月末	5,878	0.5	30,844	0.3	97.7	-
	(期末) 2022年 3 月15日	5,972	2.2	31,198	1.4	97.5	-
第233期	(期首) 2022年 3 月15日	5,962	-	31,198	-	97.5	-
	3 月末	6,335	6.3	32,901	5.5	97.7	-
	(期末) 2022年 4 月15日	6,432	7.9	33,147	6.2	97.6	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.10.16～2022.4.15)

■ オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、3年国債利回りを0.10%に維持するというRBA（オーストラリア準備銀行）の政策が撤廃されたことから金利が上昇しましたが、その後は新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり、金利はおおむね横ばい圏で推移しました。2022年に入ると、オーストラリアの失業率が予想以上に低下したことやCPI（消費者物価指数）が予想を上回ったことを受けてRBAの利上げ観測が高まったこと、FRB（米国連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）の金融引き締め観測が高まったことなどから、金利は上昇しました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから豪ドル円は軟調に推移しました。2022年2月以降は、ウクライナ情勢を受けて資源価格が上昇したことなどが、資源国通貨である豪ドルの上昇要因となりました。また、日銀が金融緩和姿勢を維持する中、内外の金利差が拡大したことも、円安豪ドル高の要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■ 当ファンド**

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■ ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2021.10.16~2022.4.15)

■当ファンド

「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することを通して豪ドル建ての公社債等を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。

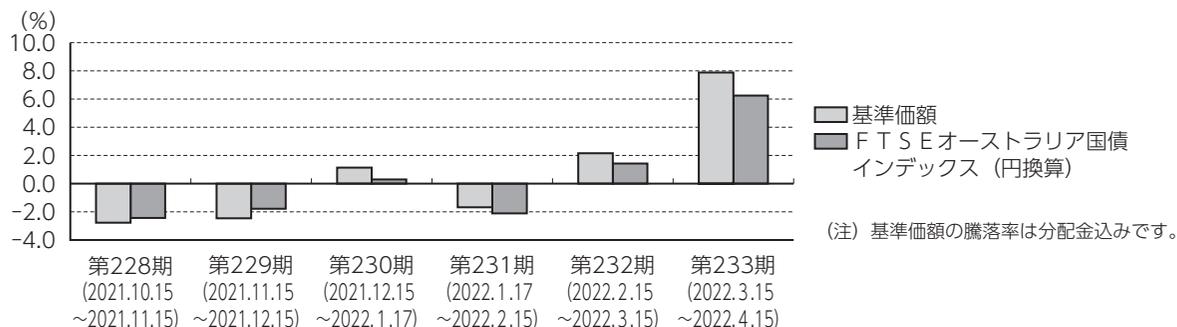
債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	2021年10月16日 ～2021年11月15日	2021年11月16日 ～2021年12月15日	2021年12月16日 ～2022年1月17日	2022年1月18日 ～2022年2月15日	2022年2月16日 ～2022年3月15日	2022年3月16日 ～2022年4月15日
当期分配金（税込み）（円）	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率（%）	0.16	0.17	0.17	0.17	0.17	0.16
当期の収益（円）	10	9	10	8	10	10
当期の収益以外（円）	—	0	—	1	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	301	300	306	304	309	317

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 10.09円	✓ 9.15円	✓ 15.89円	✓ 8.35円	✓ 14.44円	✓ 17.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	237.22	237.30	237.33	237.37	237.40	237.44
(d) 分配準備積立金	64.26	✓ 64.28	63.40	✓ 69.26	67.58	71.98
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	311.58	310.74	316.63	314.99	319.43	327.42
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	301.58	300.74	306.63	304.99	309.43	317.42

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第228期～第233期 (2021.10.16～2022.4.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.683%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,041円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.273)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	42	0.700	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

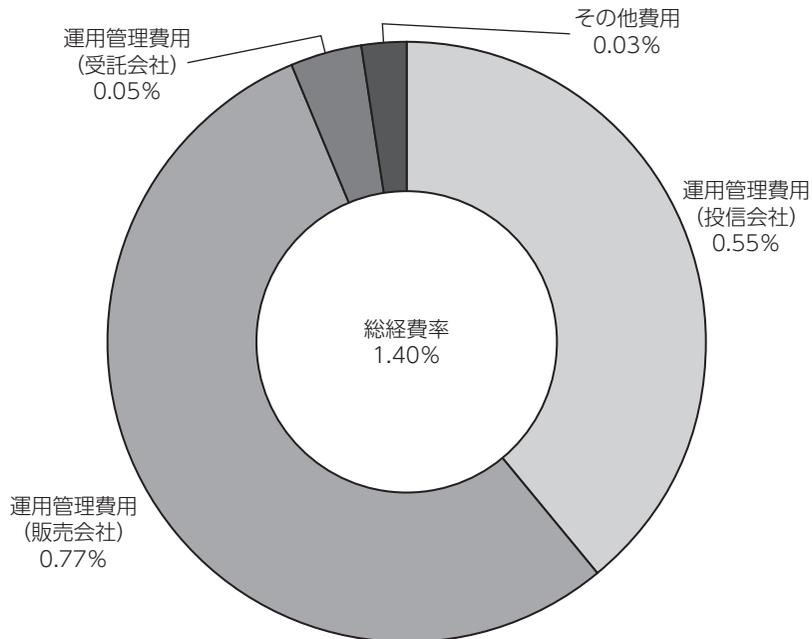
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年10月16日から2022年4月15日まで)

決算期	第228期～第233期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	784	2,341	101,397	315,813

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第227期末		第233期末	
	□数	金額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	1,213,981	1,113,368	3,666,879	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年11月15日)、(2021年12月15日)、(2022年1月17日)、(2022年2月15日)、(2022年3月15日)、(2022年4月15日)現在

項目	第228期末	第229期末	第230期末	第231期末	第232期末	第233期末
(A) 資産	3,692,244,241円	3,584,592,674円	3,579,512,823円	3,483,029,401円	3,529,586,800円	3,699,456,122円
コール・ローン等	28,221,140	27,026,311	27,296,603	26,229,506	26,519,460	27,439,958
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド(評価額)	3,664,023,101	3,552,988,922	3,550,611,658	3,453,807,292	3,500,468,230	3,666,879,872
未収入金	—	4,577,441	1,602,673	2,992,603	2,599,110	5,136,292
その他未収収益	—	—	1,889	—	—	—
(B) 負債	10,526,496	14,474,619	11,784,501	12,559,168	12,201,282	14,769,973
未払収益分配金	6,077,643	6,052,344	5,990,367	5,936,239	5,899,598	5,737,289
未払解約金	—	4,297,900	1,208,600	2,691,477	2,475,998	4,601,153
未払信託報酬	4,422,332	4,073,428	4,507,559	3,830,507	3,702,541	4,282,707
その他未払費用	26,521	50,947	77,975	100,945	123,145	148,824
(C) 純資産総額(A-B)	3,681,717,745	3,570,118,055	3,567,728,322	3,470,470,233	3,517,385,518	3,684,686,149
元本	6,077,643,598	6,052,344,620	5,990,367,037	5,936,239,143	5,899,598,942	5,737,289,830
次期繰越損益金	△2,395,925,853	△2,482,226,565	△2,422,638,715	△2,465,768,910	△2,382,213,424	△2,052,603,681
(D) 受益権総口数	6,077,643,598□	6,052,344,620□	5,990,367,037□	5,936,239,143□	5,899,598,942□	5,737,289,830□
1万口当り基準価額(C/D)	6,058円	5,899円	5,956円	5,846円	5,962円	6,422円

* 当作成期首における元本額は6,149,478,839円、当作成期間（第228期～第233期）中における追加設定元本額は23,888,407円、同解約元本額は436,077,416円です。

* 第233期末の計算口数当りの純資産額は6,422円です。

* 第233期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,052,603,681円です。

■投資信託財産の構成

2022年4月15日現在

項目	第233期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	3,666,879	99.1
コール・ローン等、その他	32,576	0.9
投資信託財産総額	3,699,456	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝93.51円です。

(注3) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドにおいて、第233期末における外貨建純資産(7,719,330千円)の投資信託財産総額(7,729,512千円)に対する比率は、99.9%です。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第228期 自2021年10月16日 至2021年11月15日 第231期 自2022年1月18日 至2022年2月15日
 第229期 自2021年11月16日 至2021年12月15日 第232期 自2022年2月16日 至2022年3月15日
 第230期 自2021年12月16日 至2022年1月17日 第233期 自2022年3月16日 至2022年4月15日

項 目	第 228 期	第 229 期	第 230 期	第 231 期	第 232 期	第 233 期
(A) 配当等収益	△ 635円	△ 502円	1,628円	△ 280円	△ 159円	△ 68円
受取利息	2	1	2	—	—	1
その他収益金	—	—	1,889	—	—	—
支払利息	△ 637	△ 503	△ 263	△ 280	△ 159	△ 69
(B) 有価証券売買損益	△ 100,919,765	△ 86,064,822	44,687,478	△ 55,226,836	77,958,724	274,102,812
売買益	380,756	504,952	45,551,033	541,442	78,422,685	280,283,825
売買損	△ 101,300,521	△ 86,569,774	△ 863,555	△ 55,768,278	△ 463,961	△ 6,181,013
(C) 信託報酬等	△ 4,448,853	△ 4,097,854	△ 4,534,587	△ 3,853,477	△ 3,724,741	△ 4,308,386
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 105,369,253	△ 90,163,178	40,154,519	△ 59,080,593	74,233,824	269,794,358
(E) 前期繰越損益金	△ 954,750,687	△1,060,552,383	△1,144,351,042	△1,099,600,082	△1,156,844,612	△1,058,031,544
(F) 追加信託差損益金	△1,329,728,270	△1,325,458,660	△1,312,451,825	△1,301,151,996	△1,293,703,038	△1,258,629,206
(配当等相当額)	(144,177,963)	(143,624,808)	(142,173,905)	(140,910,617)	(140,061,969)	(136,230,505)
(売買損益相当額)	(△1,473,906,233)	(△1,469,083,468)	(△1,454,625,730)	(△1,442,062,613)	(△1,433,765,007)	(△1,394,859,711)
(G) 合計(D+E+F)	△2,389,848,210	△2,476,174,221	△2,416,648,348	△2,459,832,671	△2,376,313,826	△2,046,866,392
(H) 収益分配金	△ 6,077,643	△ 6,052,344	△ 5,990,367	△ 5,936,239	△ 5,899,598	△ 5,737,289
次期繰越損益金(G+H)	△2,395,925,853	△2,482,226,565	△2,422,638,715	△2,465,768,910	△2,382,213,424	△2,052,603,681
追加信託差損益金	△1,329,728,270	△1,325,458,660	△1,312,451,825	△1,301,151,996	△1,293,703,038	△1,258,629,206
(配当等相当額)	(144,177,963)	(143,624,808)	(142,173,905)	(140,910,617)	(140,061,969)	(136,230,505)
(売買損益相当額)	(△1,473,906,233)	(△1,469,083,468)	(△1,454,625,730)	(△1,442,062,613)	(△1,433,765,007)	(△1,394,859,711)
分配準備積立金	39,115,453	38,395,488	41,513,884	40,140,690	42,492,528	45,882,775
繰越損益金	△1,105,313,036	△1,195,163,393	△1,151,700,774	△1,204,757,604	△1,131,002,914	△ 839,857,250

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 228 期	第 229 期	第 230 期	第 231 期	第 232 期	第 233 期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,132,720円	5,539,484円	9,520,904円	4,958,922円	8,519,324円	10,317,349円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	144,177,963	143,624,808	142,173,905	140,910,617	140,061,969	136,230,505
(d) 分配準備積立金	39,060,376	38,908,348	37,983,347	41,118,007	39,872,802	41,302,715
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	189,371,059	188,072,640	189,678,156	186,987,546	188,454,095	187,850,569
(f) 分配金	6,077,643	6,052,344	5,990,367	5,936,239	5,899,598	5,737,289
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	183,293,416	182,020,296	183,687,789	181,051,307	182,554,497	182,113,280
(h) 受益権総口数	6,077,643,598口	6,052,344,620口	5,990,367,037口	5,936,239,143口	5,899,598,942口	5,737,289,830口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 228 期	第 229 期	第 230 期	第 231 期	第 232 期	第 233 期
1万口当り分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

運用報告書 第39期 (決算日 2022年4月15日)

(作成対象期間 2021年10月16日～2022年4月15日)

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

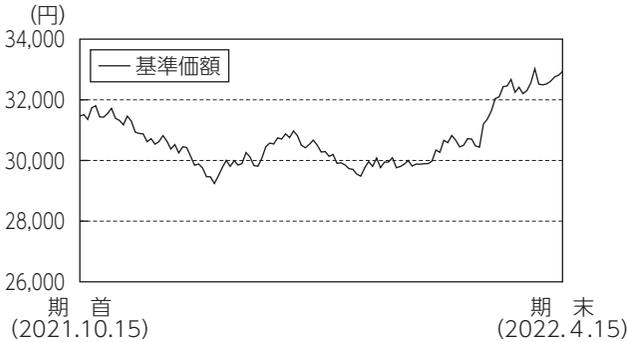
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSEオーストラリア 国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率		
(期首)2021年10月15日	31,464	—	32,694	—	98.4	—
10月末	31,321	△0.5	32,500	△0.6	97.8	—
11月末	29,885	△5.0	31,210	△4.5	98.2	—
12月末	30,877	△1.9	32,446	△0.8	97.8	—
2022年 1月末	29,483	△6.3	30,600	△6.4	97.7	—
2月末	29,977	△4.7	30,844	△5.7	98.2	—
3月末	32,415	3.0	32,901	0.6	98.2	—
(期末)2022年 4月15日	32,935	4.7	33,147	1.4	98.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSEオーストラリア国債インデックス(豪ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSEオーストラリア国債インデックス(豪ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：31,464円 期末：32,935円 騰落率：4.7%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の価格下落はマイナス要因になったものの、利息収入や豪ドルが円に対して上昇(円安)したことを反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は上昇(債券価格は下落)しました。

当作成期首より、3年国債利回りを0.10%に維持するというRBA(オーストラリア準備銀行)の政策が撤廃されたことから金利

が上昇しましたが、その後は新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり、金利はおおむね横ばい圏で推移しました。2022年に入ると、オーストラリアの失業率が予想以上に低下したことやCPI(消費者物価指数)が予想を上回ったことを受けてRBAの利上げ観測が高まったこと、FRB(米国連邦準備制度理事会)やECB(欧州中央銀行)の金融引き締め観測が高まったことなどから、金利は上昇しました。

○為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから豪ドル円は軟調に推移しました。2022年2月以降は、ウクライナ情勢を受けて資源価格が上昇したことなどが、資源国通貨である豪ドルの上昇要因となりました。また、日銀が金融緩和姿勢を維持する中、内外の金利差が拡大したことも、円安豪ドル高の要因となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3(年)程度から5(年)程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3(年)程度から5(年)程度の範囲内で運用しました。

債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3(年)程度から5(年)程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	4
（保管費用）	(4)
（その他）	(1)
合計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公社債

(2021年10月16日から2022年4月15日まで)

		買付額	売付額
外 国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル
		国債証券	4,800 (—)
		特殊債券	12,449 (—)
	社債券	5,348	3,951 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公社債

(2021年10月16日から2022年4月15日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金額		金額	
	千円		千円
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 1.75% 2034/7/20	296,477	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3.25% 2029/4/21	313,034
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 1.8% 2027/1/19	241,792	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK (ドイツ) 2.7% 2022/9/5	246,132
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (オーストラリア) 2.4% 2027/1/14	184,727	NORDIC INVESTMENT BK. (国際機関) 5% 2022/4/19	232,126
WESTPAC BANKING CORP (オーストラリア) 2.4% 2027/1/25	128,583	Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad (カナダ) 1.6% 2023/6/9	203,515
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア) 3% 2029/4/20	86,696	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 4.75% 2024/8/7	194,174
MONASH UNIVERSITY (オーストラリア) 4.05% 2029/4/6	77,238	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK (ドイツ) 5.5% 2022/3/29	151,546
UNIVERSITY OF TASMANIA (オーストラリア) 3.97% 2032/3/24	57,960	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 5% 2024/3/19	146,185
		Westpac Banking Corp (オーストラリア) 3.2% 2023/3/6	131,726
		QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 5.75% 2024/7/22	100,363
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3% 2047/3/21	77,177

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	期 末						
		評 価 額		組 入 比 率	うちB B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 81,228	千オーストラリア・ドル 80,980	千円 7,572,482	% 98.1	% -	% 25.5	% 57.7	% 14.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額			償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	
					千オーストラリア・ドル	千円		
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	5,368	5,504	514,731	2025/04/21	
	Province of Alberta Canada	地 方 債 証 券	2.4000	500	443	41,446	2030/10/02	
	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	4.0000	500	516	48,314	2024/05/22	
	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	3.0000	2,000	1,992	186,333	2028/04/18	
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	4.7500	3,000	3,131	292,797	2024/04/08	
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特 殊 債 券	5.0000	6,500	6,810	636,856	2024/03/19	
	KOMMUNALBANKEN	特 殊 債 券	5.2500	2,800	2,958	276,626	2024/07/15	
	Airservices Australia	特 殊 債 券	2.7500	1,660	1,673	156,521	2023/05/15	
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000	400	403	37,738	2026/10/21	
	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000	1,000	995	93,062	2029/04/20	
	South Australia GOV.FIN.AUTH.	特 殊 債 券	3.0000	5,000	5,001	467,666	2028/05/24	
	TREASURY CORP VICTORIA	特 殊 債 券	3.0000	3,500	3,492	326,584	2028/10/20	
	TREASURY CORP VICTORIA	特 殊 債 券	1.5000	2,000	1,709	159,877	2031/09/10	
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.2500	10,000	10,187	952,633	2026/07/21	
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	1.5000	2,000	1,700	159,026	2032/03/02	
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	1.7500	4,000	3,305	309,117	2034/07/20	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	4.7500	7,500	7,861	735,128	2024/08/07	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	1.8000	3,000	2,831	264,783	2027/01/19	
	Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	2.0500	1,800	1,756	164,280	2024/07/10	
	University of Sydney	社 債 券	3.7500	6,000	6,103	570,721	2025/08/28	
	Australian National University	社 債 券	3.9800	4,040	4,130	386,235	2025/11/18	
	Bank of Nova Scotia/Australia	社 債 券	3.2000	600	607	56,786	2023/09/07	
	UNIVERSITY OF TASMANIA	社 債 券	3.9700	630	600	56,128	2032/03/24	
	MONASH UNIVERSITY	社 債 券	4.0500	840	845	79,044	2029/04/06	
	Macquarie University	社 債 券	3.5000	1,000	990	92,608	2028/09/07	
	AUST & NZ BANK	社 債 券	4.0000	1,700	1,735	162,310	2026/07/22	
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	社 債 券	2.4000	2,290	2,173	203,225	2027/01/14	
	WESTPAC BANKING CORP	社 債 券	2.4000	1,600	1,517	141,892	2027/01/25	
合 計	銘 柄 数 金 額	28銘柄		81,228	80,980	7,572,482		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2022年4月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	7,572,482	98.0
コール・ローン等、その他	157,030	2.0
投資信託財産総額	7,729,512	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝93.51円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（7,719,330千円）の投資信託財産総額（7,729,512千円）に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年4月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,755,294,265円
コール・ローン等	66,220,614
公社債(評価額)	7,572,482,041
未収入金	25,800,000
未収利息	61,433,570
前払費用	100,056
差入委託証拠金	29,257,984
(B) 負債	34,432,743
未払金	25,784,002
未払解約金	8,648,741
(C) 純資産総額(A - B)	7,720,861,522
元本	2,344,279,597
次期繰越損益金	5,376,581,925
(D) 受益権総口数	2,344,279,597口
1万口当り基準価額(C/D)	32,935円

* 期首における元本額は2,609,647,208円、当作成期間中における追加設定元本額は1,744,956円、同解約元本額は267,112,567円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ世界債券ファンドM (FOFs用) (適格機関投資家専用) 105,540,210円
 常陽3分法ファンド 39,216,515円
 ダイワ世界債券ファンドVA (適格機関投資家専用) 5,237,971円
 ダイワ世界債券ファンド (毎月分配型) 1,079,129,102円
 ダイワ世界債券ファンド (年2回決算型) 1,787,081円
 ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型) 1,113,368,718円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は32,935円です。

■損益の状況

当期 自2021年10月16日 至2022年4月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	140,436,360円
受取利息	140,438,023
支払利息	△ 1,663
(B) 有価証券売買損益	198,717,718
売買益	816,098,827
売買損	△ 617,381,109
(C) その他費用	△ 1,013,563
(D) 当期損益金(A + B + C)	338,140,515
(E) 前期繰越損益金	5,601,292,536
(F) 解約差損益金	△ 566,359,204
(G) 追加信託差損益金	3,508,078
(H) 合計(D + E + F + G)	5,376,581,925
次期繰越損益金(H)	5,376,581,925

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。